

第63回九州地区育成会宮崎大会のご報告

〜 式典の様子 〜



手をつなぐ・うちな

知的な障がいのある人と共に

♪ 県育成会のHPにもカラーで掲載中

「笑顔を安心して暮らせること」をテーマに、第63回九州地区手をつなぐ育成会宮崎大会が11月9日(土)に、沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1 沖縄県総合福祉センター内で開催されました。式典では、沖縄県から3名の方が表彰されました。式典後は、全国手をつなぐ育成会連合会の又村あおい常務理事兼事務局長より、法制度のうごき・全育連のうごき等の中央情勢報告があり、障害者総合支援法の改正が施行されて、障害者福祉サービスの報酬改定も実施されたことなどの報告がありました。

これは障害者権利条約の対日審査総合所見を意識したものに、なお、入所施設やグループホームの在り方についてのうごき等は注視が必要とし、意思決定支援を強化し、地域生活支援拠点へのコーディネート・ネットワーク配置を促進するとしています。入所施設やグループホーム等から地域移行へとなっていくだろうとのことでした。

また、成年後見人制度については、見直し専門家会議を設置したことは、前にもお伝えしましたが、すでに抜本見直しに関する部会の

発行所
沖縄県手をつなぐ育成会
那覇市首里石嶺町4-373-1
沖縄県総合福祉センター内
TEL 098 - 882 - 5727
FAX 098 - 882 - 5720
E-mail: oki-iku@woody.ocn.ne.jp
HP: http://www.oki-iku.com/
発行人 理事長 田中寛
定価 50円(会費を含む)

【目次】

P1	第63回九州地区宮崎大会のご報告①
P2	第63回九州地区宮崎大会のご報告②
P3	北海道大会と研修会報告・理事通信
P4	ゆんたく広場・県育成会予定他

〜 中央情勢報告の様子 〜



〜 各事業所販売の様子 〜



設置が決定され、この時点で1年以上早い進捗状況となっているとのことでした。

政治状況に混乱がなければ、2026年、通常国会へ民法改正を含む成年後見制度関係の法改正が上程され可決される可能性が高いということでした。

午後の全大会は「自分のことは自分で決める意思決定の在り方」をテーマに、保護者・施設・後見人・相談支援者がそれぞれの立場から発表がありました。

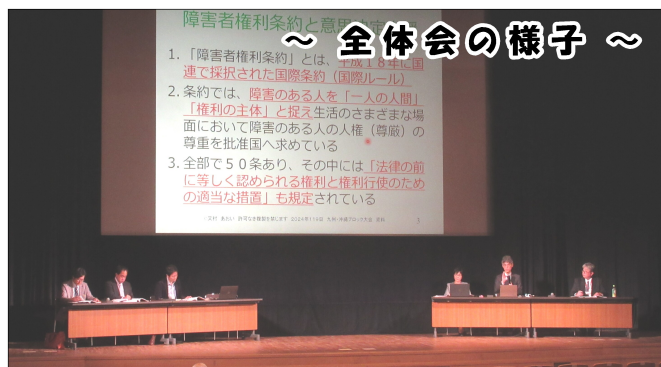
様々なサービスや法制度を利用していく上で、本人の意向や考えていることを的確に知り、意思決定へ繋げる支援が大切である等の発表があり、色々考えさせられる事や事例も含めたお話しも聞くことが出来、とても有意義で素晴らしい大会でありました。

また、次年度(令和7年度)の九州大会は沖縄での開催となりますので、今回は次期開催県挨拶も行いました。(副理事長 砂川)

次のページにも大会の写真を掲載しています♪



第63回九州地区育成会宮崎大会のご報告



～ 全体会の様子 ～



～ 本人活動の様子 ～



来年の九州大会は
沖縄で開催です★

～ 次期開催県あいさつ ～



～ 本人発表の様子 ～

1. 「はいさいぐすーよーちゅーうがなびら」これは沖縄の方言で「皆さんこんにちは、ご機嫌いかがですか?」といった意味です。
2. 私の名前は、照屋 梓です。年齢は、内緒です。
3. 沖縄高等特別支援学校を卒業して、お菓子の会社で働きましたが、人との関係が良くなかったので、田中さんが所長をしているおきなわ工房に入って22年間、頑張ってはたいています。
4. 時間があるときは、音楽を聴いたり映画を見に行くことです。特にアニメやジャッキーチェンのアクション映画が好きです。
5. おきなわ工房での仕事は、ガラス玉や皮革を使ったキーホルダー作りです。
6. 私の仕事は、きれいな形の星の砂を選んだり、皮革に根付けをつけたら、最後の袋詰めなどいろいろなことをやります。
7. 仕事で大変なことは、細かい作業が続くので目や神経が疲れますが、ゆっくりと自分のペースで出来るので安心してしています。
8. 東北や北陸地方で起きた災害のニュースをテレビで見た時は、被害にあった人がかわいそうで涙が出ました。
9. 私の住んでいる家は、海のすぐ近くの海抜1, 5メートルなので地震の後に津波が来たらすぐに流されてしまいそうです。そのためお母さんから、「一人で家にいる時に地震が来たら、高いところへ急いで避難するように」と、いつも言われています。
10. 私の夢は、「いい人」と結婚することです。私の思っているいい人とは「いけめん」の事です。所長の田中さんは「つけめんが好きなのか」と言っすぐにからかいますが、「つけめん」ではありませんよ。そして、いつかは子供と一緒に暮らせたらいいなと思っています。
11. 最後に、今、とても楽しいことは、一緒に働いているおきなわ工房の友達や職員と話をしているときです。だから、デイズニールランドやユニバーサルスタジオと一緒にいって、沢山遊びたいと思っています。それでは皆さん、「またやーたい」、また会いましょう。



「災害への備えと私の夢、楽しみ」

おきなわ工房：照屋 梓

※この原稿は11月に行われた「第63回九州地区育成会宮崎大会」で発表されたものです。素晴らしい発表でしたので、当広報誌でもご紹介致します。

全国事業所協議会 北海道大会のご報告

11月9日(土)、全国手をつなぐ事業所協議会全国研修大会・北海道大会が札幌市の北海道立道民活動センターにて開催されました。今年度4月に行われた総合支援法の見直しに加えて行われた事業所報酬改定が与えた影響を受け、さらに魅力のある地域に根付いた事業運営について現状報告、検証、そして支援力向上について、多くの議論が活発に行われた大会でした。



～ 大会の様子 ～

名護学院家族会 虐待防止研修のご報告

10月20日(日)、名護学院虐待防止センターにて、名護学院虐待防止センター主催の虐待防止研修を行いました。この研修は、コロナ禍を挟んで毎年、今年度は4月に行われた事業所の総合支援法の改正や事業の変化した。携等には家族会内での連等についは家の運営での連等についは熱心の講話でした。学院職員の皆には感謝しありません。



～ 研修会の様子 ～

訪問研修先を 募集しています

閉鎖されたコロナ禍という構図の中において、社会生活弱者と思われる障がいのある方々への差別や虐待が見過ごされている現状があります。

当会では、本年6月より施行された一般企業への合理的配慮義務化という実情も考慮し、虐待防止の重要性を広く周知していくとともに、障がい者の権利擁護を目的として、各団体に出席して障害者虐待防止・権利擁護訪問研修を実施しています。ご希望の方は是非ご連絡下さい。

- ・ 期間：2月末頃まで
 - ・ 日時：希望日との調整可
 - ・ 研修費：2万円
(講師の交通費込)
- TEL:098-882-5727まで



理事通信

― 障がい者と真に向き合う ―

理事 石原 昌夫



私は以前、障がい者が世間から疎外されているのを感じ、障がい者が自由に心から楽しめる場所づくりを手をつなぐ育成会に提案した事がありました。

しかし、これはあまり意味が無いと、今では思っています。

その理由は、各施設の職員が外出サービスを利用して、障がい者にたくさん体験をさせているのを目の当たりにしたからです。

ある施設の職員は、意思疎通が困難な利用者との外出サービスの際、「相手の欲する気持ちをキャッチし、納得できる形を丁寧に築き上げていきたい」と述べていました。

そのことに私は非常に感動し、障がい者と携わることの基本を学んだような気がします。

話は変わりますが、沖縄県手をつなぐ育成会は、障がい者の生活向上を第一の目的に、日々活動を続けています。

今後とも、皆様のより一層のご関心を寄せて頂きたいと思えます。



田中理事長のゆんたく広場

師走になれば、反省と期待を込めて、色々な思いが浮かんできます。

家族や身近な人たちの健康を喜びながらも、自分の至らなさに成しえなかった多くの取り組みに対して、自身のふがいなさにむなしさを感じます。

また、70億円の被害にあいつつも、「今年は最高の年だ」と胸を張る大谷選手もいれば、300円の宝くじの外れ券に悔しい思いをする私もいて、人様々の人生模様には、改めて納得させられてしまいます。(笑)

そして、やはり年末に思うことは、「逝く人来る人」で、たとえ

親交のない人でも年齢の近い人の訃報を知れば、身につまされて寂しい思いですが、懐かしい知己との連絡が通じれば心が震え、これからの先の生活にも張り合いを感じます。

先日テレビにて、国内における移住先ランキングの発表がありました。数年間1位だった長野県を抑えて、宮崎県が首位に躍り出たようですが、その原因は「移住費300万十子供一人当たり100万円の県による費用負担」との報道でした。

真偽については定かではありませんが、ネット報道によると、美しい自然に囲まれ、温暖な気候に囲まれて老後に住みたい移住先と、移住してはいけない県のどちらかに

おいても私たちの沖縄県はともに一位でしたが、その負の原因の一つには昨今の新聞報道もあるかもしれません。

その情報は、日本政府内においては「台湾有事は日本有事」との認識が広がっており、米軍海兵隊幹部の論文によると、「中国から沖縄への長距離ミサイルを想定して、米軍家族は撤収が必要」と記されているようですが、その際の沖縄県地域住民の被害については論じていません。しかし、残念なことに紛争時における地域住民の悲惨さは、現在のパレスチナ自治区ガザ地区を見れば一目瞭然です。今後に迎えられる年が、永久に安泰でありますように、年の瀬に心中からただ願うばかりです。

相談事業を行っています

沖縄県手をつなぐ育成会では、知的障がいに関するあらゆる相談をお受けできるよう相談員(砂川副理事長担当)を配置しております。毎週火・木曜日朝9時半〜12時まで相談員がおりますので、お気軽にご相談下さい。

☎ (098) 882-5727

『手をつなぐ・うちな〜』編集者

理事長・田中寛
沖縄県手をつなぐ育成会事務局

『手をつなぐ』配布募集

機関誌「手をつなぐ」は、中央情勢・各地育成会の活動、また特集コーナーで、教育・福祉・就労・医療等の最新の情報がわかりやすく掲載されています。
お申込みご希望の方は、
県育成会まで一度ご連絡下さい。
*年間購読料 3,900円



県育成会行事報告11月

- ★11月9日(土) 宮崎県第63回九州地区育成会宮崎大会
- ★11月9日(土) 北海道全国事業所協議会北海道大会
- ★11月14日(木) 沖縄電力研究大会協賛の依頼にて訪問
- ★11月26日(火) 那覇市琉球銀行助成金授与式

県育成会行事予定12月・1月

- ★12月17日(火) オンライン令和7年度ゆうあい委員会①
- ★1月22日(水) 県総合運動公園県事業所協議会交流会

★新刊★



価格：税込1,540円
(郵送料・振込手数料は実費となります)



書籍販売のご案内

「あたらしいほうりつの本」の新刊となります！
最新の「就労選択支援」や「移行支援住居」なども収録、さらには障害のある子どもが使える制度の解説を大幅に充実させた書籍です。

★その他の書籍もございます。

ご注文・ご予約は県育成会までご連絡下さい。(882-5727)

賛助会員加入のお願い

当会の趣旨にご賛同いただき、活動の資金的なご支援をお願い申し上げます。



☆賛助会員

1口 千円

☆企業・団体

1口 五千元

★琉球銀行

石嶺支店(普)

444100